

四季の風

■発行責任者／病院長 曾根 孝仁
■編集／大垣市民病院広報誌編集委員会



広報 第48号

●発行 平成26年10月1日●

理 念

患者中心の医療 良質な医療の提供

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎社会人としての規律を守り、医師として思いやりのある人格を涵養する。
- ◎プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。



診療部

専門医が教える家庭の医学

傷の正しい知識 『新しい傷編』

傷を縫うと傷あとがひどくなる、
乾かすと早く治る、洗うと感染するって本当??

形成外科 森島 容子



傷や傷あとを診る専門である私たちは前述した質問をよく患者さんから受けます。

実はこれらは大きな間違いであることはご存知だったでしょうか。十数年前まで医療従事者の間でもこの間違った考えが広く浸透していました。傷は時間経過で分類すると急性創（新鮮な創）と慢性創（古い傷）があります。今回は新しい傷についての話です。

菌の数を少なくすることにより傷の汚染を改善する目的のためです。いわゆるたわ汁（滲出液）の塊や血のり（血腫）がいつまでも付着すると痛みを伴いますし、固まりが皮膚を圧迫して皮膚が壊死することもあります。放置するとこれらを栄養とする細菌が増殖し感染に至ります。傷、その周囲を洗浄して清潔に保つことが大切です。

普段よく経験する新しい傷は、「切りきず」切創、「擦りきず」擦過創、「噛みきず」咬創、「やけど」熱傷などがあります。これらの傷は3つのパターンの治り方をします。1つ目は簡単に言えば切り傷がそのままくっついて治るような治り方で縫合することが前提です。1次治癒といえます。順調に経過すれば、極めて細かくて目立ちにくい傷あと（瘢痕）になります。2つ目は、大きなえぐられた皮膚欠損の傷が自然にふさがれるのを待つような治り方で2次治癒といえます。治るまでに時間がかかりさらに傷は収縮して治癒するため、ひきつれ（瘢痕拘縮）を生じることがあります。3つ目は、2次治癒の途中で1次治癒を目的とした治療をした場合の両方が組み合わさった治り方で3次治癒といえます。どれだけ1次治癒に近づけられるかがきれいな傷の治し方のポイントです。

新しい傷の処置の基本は、洗浄であり、シャワーをはじめとする水道水や生理食塩水でよく洗うことが大切です。傷に付着する細菌の数を少なくすることにより傷の汚染を改善する目的のためです。いわゆるたわ汁（滲出液）の塊や血のり（血腫）がいつまでも付着すると痛みを伴いますし、固まりが皮膚を圧迫して皮膚が壊死することもあります。放置するとこれらを栄養とする細菌が増殖し感染に至ります。傷、その周囲を洗浄して清潔に保つことが大切です。

傷の治療には保存的療法と手術をする方法と2つに大別されます。実際にはこれらを適宜組み合わせる治療を行います。擦り傷や皮膚欠損創、熱傷など縫えない2次治癒させる傷は主に保存的治療を行います。軟膏を外用したり傷を密封させる被覆材の貼布による治療です。これらは傷に湿潤環境をつくります。傷を湿潤環境にすることは治癒していく過程で必要な様々な細胞が活発に機能し、滲出液中には細胞増殖因子が含まれているため傷の治りも早くなります。乾燥した傷は、たわ汁の塊やかさぶたを形成しますがこれらは細胞の作用を阻害し治癒が遅れます。湿潤環境は上皮化促進、瘢痕予防に貢献しているのです。傷が早く治れば傷あとを残す可能性も減少することから治癒する時間を考えることが必要です。時間経過によってそれぞれの傷の状態は異なり対処方法も異なるため正しい傷の状態の把握が重要になります。きれいな傷あとにするために最善の治療を選択しましょう。

10月1日
より

「かかりつけ医紹介センター」を開設

当院は、地域の医療機関と連携し、「地域完結型医療」を推進しております。それぞれの病院、診療所、クリニック等の特徴を活かしながら役割分担をし、切れ目のない医療の提供に努めております。

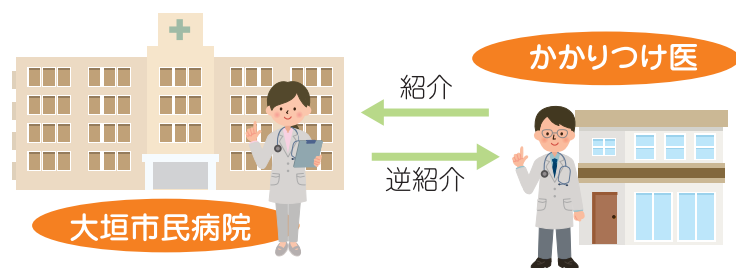
かかりつけ医とは

風邪などの日常的な病気や健診での異常を指摘された場合など、必要なときに専門医に紹介していただける身近な医師のことです。

かかりつけ医を持つことが早期発見や病気の予防につながります。

かかりつけ医がいて どんないいことがあるの？

- ①お住まいや職場から近いため、通院しやすくなります。
- ②医師の異動がなく、長いおつきあいができます。
- ③普段の体調、生活習慣、病歴等がわかっていますので、体調に変化があった時に病気の早期発見につながります。
- ④入院治療や特殊な検査が必要な場合には、適切な病院・診療科を紹介していただけます。



かかりつけ医紹介センター

場 所 1病棟1階 正面玄関東側
(料金支払窓口の北側)

相談時間 月曜日～金曜日
(土曜日、日曜日、祝日を除く)
8時30分～17時15分



かかりつけ医紹介センターとは

主に急性期の治療を終え容態が安定した患者さんで、かかりつけ医をおもちでない方に対し、当院の医師から紹介させていただく業務を行うところです。

かかりつけ医紹介センターの利用の流れ

- ①診療科の医師から患者さんに「かかりつけ医紹介センター」を紹介させていただきます。
- ②患者さんのご希望と今後の治療にそった複数の「かかりつけ医」候補を紹介させていただきます。
- ③次回受診日に「かかりつけ医紹介センター」で紹介された複数のかかりつけ医候補の中から主治医と相談していただいて、最適なかかりつけ医を選び、医師から紹介状をお渡しいたします。

かかりつけ医と病院が患者さんの 医療情報を共有することで・・・

待ち時間や検査を省略することができ、より早く適切な医療を受けることができます。

患者二名の主治医制！

一人の患者さんに対し、二名の主治医（大垣市民病院の医師とかかりつけ医）を持っていただくことになります。

「特別初診料」改定のお知らせ

平成26年10月1日より、次のとおり特別初診料の料金改定を行います。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

＊他の医療機関からの紹介状をお持ちの方は、この費用はかかりません。

【改定前】
1,080円【改定後】
2,160円

特別初診料（保険外併用療養費）とは

健康保険の自己負担分とは別に、紹介状なしで200床以上の病院に初診で受診された場合にお支払いいただく、健康保険法の規定に基づき定められた療養費です。

紹介状を持参された方、公費の医療券（結核予防法の医療券や特定疾患等の公費保険の医療券）をお持ちの方等は、この費用はかかりません。

ただし、「乳幼児医療費受給者証」「母子（父子）家庭医療費受給者証」をお持ちの方でも、紹介状がない場合は、2,160円のご負担が必要となります。また医科と歯科は別々となります。

詳しくは、よろず相談・地域連携課（内線6172・6175）へ

看護部



看護部の理念

安心と満足につながる
温かな看護の提供

呼吸サポートチーム（RST）について

ICU / 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 齋藤 修平

病院では一人の医師が中心となり、すべての治療などを判断する時代から、専門職が集まり知恵を出し合って患者さんをサポートするチーム医療にかわりつつあります。今回は呼吸サポートチーム（RST・Respiratory Support Team）の紹介をします。

自分で呼吸ができず人工呼吸器を付けなければならぬ患者さんがいます。人工呼吸器を早く外せることを目標に集まったチームをRSTと言います。RSTの対象患者さんは病棟で人工呼吸器を装着してから1ヶ月以内、48時間以上継続して人工呼吸器を装着している患者さんです。また、人工呼吸器装着患者さんで困ったことや、問題が発生した場合にはその都度対処しています。

当院RSTでは、「皆が何でも言い合える」をモットーに、患者さんにとって何が一番よい方法であるか話し合いをしています。医師、看護師、臨床工学士、理学療法士、歯科衛生士が対等な立場で話し合います。毎週火曜日にRSTメンバー全員で回診しています。回診をした部署では、意見を参考にさせて頂いたり、

提案した内容を看護ケアにも取り入れてもらいます。

病棟では、病棟看護師が一番患者さんのことを理解しています。私達RSTは病棟看護師と協力し、人工呼吸器装着患者さんが機器を使用しなくても楽に呼吸ができるようチーム一丸となって取り組んでいます。

また、院内スタッフの知識向上を図っていくことも役割であり、当院での呼吸ケアの充実が図れるよう努めています。人工呼吸器装着患者さんで、お困り事がありましたら、気軽にRSTにおたずねください。



回診風景



院内勉強会

No.5 褥瘡のくすり



●ユーパスタ、テラジアパスタ、ゲイベンクリーム
（壊死組織の除去、感染・炎症の抑制効果）
深い褥瘡で、壊死（えし）に陥った表皮や真皮が黒く乾燥し、創面を覆った状態の時、これを除去するために使用します。また、細菌による感染や炎症を鎮める効果もあります。

●プロメライン軟膏
（壊死組織除去の効果）
深い褥瘡で、黒色壊死が除かれ、黄色の壊死組織や不良肉芽などが表面に現れた状態の時、これを除去するために使用します。

●フィブラストスプレー、オルセノン軟膏、プロスタンディン軟膏
（肉芽形成の促進）
黄色壊死が除かれ、赤い肉芽組織が増殖してくる状態の時、肉芽形成を促進するために使用します。

●アクトシン軟膏、亜鉛華軟膏
（創面縮小の促進効果）
赤い肉芽組織が組織の欠損を埋めるにつれて、創の収縮が起こる時期に創面をしめった環境に保ち上皮形成や創の収縮を促進するために使用します。

褥瘡（じよくそう）は、寝たきりの患者さんなどに発生する皮膚の潰瘍であり、「床ずれ」とも言われたりします。褥瘡ができやすい患者さんの特徴として、
①自分で姿勢を変えることができない
②痛みがわからない
③いつもお尻や背中がしめついている
④栄養が十分にとれていない
⑤むくんでいる
といったものがあります。このような項目に該当する場合は、褥瘡の発生を防ぐために持続的な圧迫・摩擦の排除を行ったり、栄養管理をするなど、その患者さんの病態に応じたケアが必要となってきます。
一旦褥瘡になると、治癒には時間がかかり、痛みを伴うのと同時に、感染や汚染など様々な問題に発展し、介護や看護に当たる方の負担も大きくなります。

現在では、褥瘡の予防方法・治療方法が大きく進歩しております。ここで、当院で使用されている褥瘡治療薬の一部を紹介します。

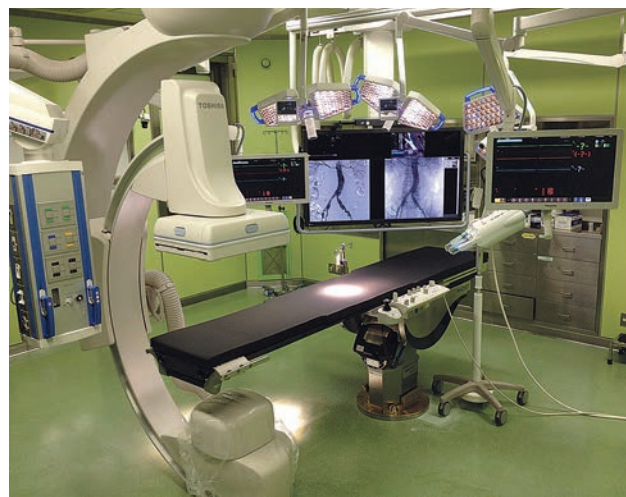
最先端のハイブリッド手術室を導入！

平成26年7月17日、中央手術室内に、西濃地域初となるハイブリッド手術室を導入しました。

ハイブリッド手術室とは、カテーテルによる血管内治療と手術による外科治療を協調し、循環器内科と心臓血管外科を主としたチーム医療を行うことができる最先端の手術室です。

当院では、麻酔科医をはじめいろいろな部門の外科医、そして各種医療スタッフが常駐する手術室を改装し、室内に東芝メディカルシステムズ社製の最新鋭X線循環器診断システム『Infinix Celeve™-i INFX-8000H』および、ドイツのMAQUET社製専用手術台『MAGNUS手術台埋込型 1180』を設置した事で、より安全かつ清潔な環境でハイブリッド手術が可能となりました。

また56インチと大型モニターを採用し、手術中でも非常に高精細なX線画像をリアルタイム表示できます。英知を集結した最先端のハイブリッド手術室では、手術リスクの高い高齢者や呼吸障害などの疾患を持った患者さんにとって、より安全性の高い治療が可能となりました。今後は、胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤に対する従来のステントグラフト留置術に加え、より複雑で広範囲に及ぶ大動脈疾患に対する血管内治療や、小さな切開からカテーテルを用いて人工弁を移植する経カテーテル的大動脈弁置換術などの手術を年間およそ150症例実施する予定です。



お知らせ

市民公開講座

演 題：「インフルエンザのお話」
 感染対策室 看護師 田中 広司
 感染対策室 薬剤師 松岡 知子

日 時：平成26年10月15日（水）
 午後3時～午後4時

場 所：管理棟5階 講堂

問い合わせ先：診療検査科 内線 4521

よろず相談・地域連携課出前講座

テ マ：「在宅での食事の工夫」
 栄養が偏りがち、食欲がない、そんな時の食事の工夫を管理栄養士がわかりやすくお話しします。

日 時：平成26年10月23日（木）
 午後4時～午後5時

場 所：3病棟2階 デイルーム

問い合わせ先：よろず相談・地域連携課 内線 6179

※事前の予約は必要がなく、どなたでも無料で参加いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

第19回市民の健康広場

日 時：平成26年10月19日（日）
 午前10時～午後3時

場 所：大垣城ホール

公開講演会

テ マ：「胃がん予防は『胃がんリスク検診（ABC検診）』から」
 消化器内科医長 久永 康宏

時 間：午前11時～



*講演会以外に各種検診などを行っています。
 この機会に家族の健康状態をチェックしたり、役立つ知識を学んでみませんか。

胸部レントゲン・血液検査・血圧測定・体脂肪測定・血液さらさらチェック
 歯の健診・認知症予防コーナー・介護相談コーナー などなど



看護師
 （正職員・パート）

随 時 募 集

保育所完備

○応募資格／採用時満55歳までの方（准看護師は45歳までの方）

正職員：助産師、看護師免許取得者

パート：助産師、看護師または 准看護師免許取得者

※正職員は夜勤も数回できる方

○勤務体制／外来または病棟勤務

○選考方法／書類選考および面接＊面接日などは後日連絡

○申し込み／助産師、看護師または准看護師免許の写しと履歴書（写真添付）を大垣市民病院庶務課へ郵送またはご持参ください。

○問い合わせ先／〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地

大垣市民病院 事務局庶務課 ☎0584-81-3341 内線6132・6133



工事のお知らせ

託児所及び寮の改築にともなう工事のため、大変ご迷惑をおかけいたしております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



当院は敷地内全面禁煙です。
 ご理解、ご協力ください。

編集後記

「四季の風」48号をお届けしました。次回は1月1日に発行予定です。
 「四季の風」では、今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。
 ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。

大垣市民病院広報誌編集委員会
 〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
 TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715
<http://www.ogaki-mh.jp/>
 （電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いいたします）